

入居されて3年になられる佐侯様。入居後に自然歴史案内人にチャレンジしました。ご夫婦で活躍されている姿をご紹介します。

### 【知りたいと思った自分たちの町】

引越してから「まず始めに我が町・伊東を知ろう」と、観光施設や名所を見て歩きました。しかし、歴史や由来は誰が教えてくれる訳でもありません。ただ漠然と“見て歩くだけの観光”でした。「もっと伊東を知りたい」という思いが強くなってゆく中、新聞のある記事が目飛び込んできました。それは伊東市主催の自然歴史案内人講座受講生募集の案内でした。講座修了後は観光案内人としてデビューします。伊東を知りたいと思っていた私たちにとっては、もってこいの講座でした。だからすぐに応募しました。



現在案内をされている東海館入口

### 【二人で認定されるために勉強の日々】

修了まで月2回、年間24回の講座です。月2回と言っても簡単ではありません。毎回違う施設、地域、名所に赴き講座を行うので一度も休むことがないように、しっかりと体調管理をして二人で協力しました。修了時に認定試験があります。二人で同時に始めた事ですから、どちらかが認定されないなんて事がない様に、それはそれは必死に勉強しました。その甲斐あって、H27年3月に夫婦揃って合格。

案内人仲間は、なったばかりの私達を良くも悪くも同等に見てくれます。時にプレッシャーにもなりますが「早く先輩案内人のようになろう」と、努力するきっかけにもなりました。そしていよいよ8月に案内人としてデビューしました。

### 【デビューして知った驚きの世界】

私達は伊東のことを“温泉・海・大室山”位しか印象がありませんでした。でもこの講座を受けてから、抱いていた印象は全く変わりました。伊東祐親の三女・八重姫と源頼朝にまつわる話や日本三大仇討の曾我物語、伊東市出身の医学者で詩人として北原白秋と並び称された木下杢太郎の話、日本初となる洋式軍艦帆船を伊東で建造した三浦按針（ウィリアム・アダムス）の話など、知れば知るほど歴史は古く、そして深い事に驚きましたよ。

### 【案内人としてさらなる向上を目指して】

時には困る事もあります。最近では外国の方が多くなってきた事。片言の英単語とジェスチャーで説明をしました。これから外国語にもチャレンジしようかと考えています。それから、現在案内をしている観光施設“東海館”は歴史的木造建築物ですが、建築のプロが観光客の中に紛れ込んでいる事があり、もっと深く説明をするようにご指摘を受けた事もありました。でもそれが嬉しくて、次の案内の肥やしにするためですから、率直に教えて頂きました。伊東に来てくれて伊東の事を知ってくれて、案内をした後に拍手を頂いたり、「ありがとう、また来ます」「一緒に写真撮って下さい」なんて言われたらもっと頑張ろうって思います。

いつまでもお元気でご活躍してください。（募集・日吉）



限られた時間で最大限にご案内説明にも力が入ります！



案内を終えて、ほっと一安心自然と笑顔がこぼれます♪



伊東市有形文化財に指定されている東海館